

2018年1月 外来医師一覧表

		月	火	水	木	金
外科	午前	田辺 大朗		田辺 大朗	甲斐 幹男	
整形外科	午前	西口 雅彦	西口 雅彦		西口 雅彦	
	午後		西口 雅彦			
脳神経外科	午前			藤岡 正導		藤岡 正導
	午後			藤岡 正導		
心臓血管外科	午後	済生会熊本病院医師				
循環器内科	午前	庄野 弘幸	庄野 弘幸		庄野 弘幸	
	午後	庄野 弘幸	庄野 弘幸		庄野 弘幸	
呼吸器内科	午前	済生会熊本病院医師 (2、4、5週)				
消化器内科	午前		藤本 貴久	築村 哲人	築村 哲人	藤本 貴久
	午後				築村 哲人	
肝臓外来	午前			熊大病院医師 (川崎 剛)		
泌尿器科	午前	済生会熊本病院医師 (3、5週)		済生会熊本病院医師		
腎臓病外来	午前				町田 健治	
	午後				町田 健治	
糖尿病外来	午前					済生会熊本病院医師 星乃(2週)、松尾(3週)
乳腺外来	午前	田辺 大朗		田辺 大朗	甲斐 幹男	
ペインクリニック	午前		荒川 和也			
	午後					荒川 和也
禁煙外来	午後					藤岡 正導
動脈硬化外来	午後		藤岡 正導			
脳ドック	午後			藤岡 正導		

- 受付時間 / 午前 8:30~11:00 (土・日・祝日・年末年始を除く) ※お電話での予約や予約変更は平日14:00~17:00に承っております。
- 診療案内 / TEL.0964-53-1656 FAX.0964-53-1657 ※休日がございますので、事前にお問い合わせください。

患者さんの権利と義務

私達は、安心して診療・治療を受けて頂くために、病状や治療法などについて十分な説明を行います。
また患者さんのご負担を軽減し、同意に基づいた医療を提供します。

患者さんの権利

1. 良質な医療を公平に受ける権利
2. 診療の内容等について十分な説明を受ける権利
3. 治療方法など自分の意志で決定する権利
4. 個人の秘密や医療上の情報が保護される権利
5. 診療記録の開示を求める権利
6. あなたの病気について他の医師に意見を求める権利

患者さんの義務

1. 自分の健康状態を出来るだけ正確に伝える義務
2. わからない事柄について質問する義務
3. 病院の規則と指示を守り治療に専念する義務
4. 他の来院者に対して迷惑をかける義務

理念と基本方針

医療・福祉を通じて安心して生活できる地域づくりに貢献します。

「地域医療を支援します」「救急医療を実践します」「健康的な生活を支援します」



社会福祉法人
恩賜財団 済生会みすみ病院

〒869-3205 熊本県宇城市三角町波多775-1
TEL.0964-53-1611(代表) FAX.0964-53-1618

お知らせ・休診情報はこちら
<http://sk-misumi.jp>



発行 / 平成30年1月 社会福祉法人済生会みすみ病院 広報委員会

咲かせよう いのち 世代を越えて いつまでも。



46 Take Free.
2018.01



木下事務長
お見送り

医師年頭挨拶

リハビリテーションだより「その体の疲れ・痛みは足の影響？」

部署紹介[企画総務室] / みすみ病院のできごと

外来医師一覧

[特集] 「健康フェスタ2017」を開催しました



社会福祉法人
恩賜財団 済生会みすみ病院

健康と福祉の情報誌 / 発行者 庄野 弘幸

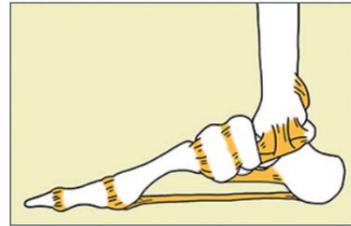
リハビリテーションだより
その体の疲れ・痛みは足の影響？

足の大切な機能について解説します

＼足とは？／

人間の体全体で名前の付いている骨は「約206個」あります。そのうち片方の足には「28個」、両足合わせて「56個」もの骨が集まっています。つまり、人間の骨のうち「1/4が足に集まっている」ということです。

骨と骨のつながりの部分を関節といい、足の骨は細かく小さな骨の集まりのため、関節も多くその周りを、靭帯、筋肉、腱などの組織で支えています。



▲骨同士をつなげる靭帯

＼足のアーチ／



我々先祖が樹上で生活していた太古の昔、その足に土踏まずはありませんでした。それが地上に降りてチンパンジーのような4足歩行からさらに効率の良い直立二足歩行を始めたことで、土踏まずが形成されました。

アーチは構造上、上からかかる力に対して非常に強く優れた特性があります。そのためアーチ構造は古来から橋や門などさまざまな建造物に利用されてきました。人の足も土台にアーチ構造を備えることで、体重を支える強さを保っているのです。

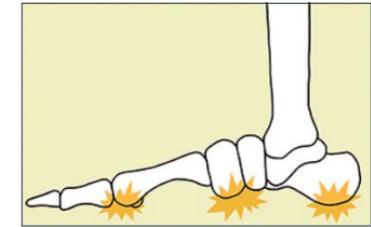


足の裏には3つのアーチが存在し「衝撃吸収」や「足の安定性」に重要な役割を果たしています。歩くとき地面に足をついて、その瞬間に床からの衝撃を吸収して、足首、膝、股関節、腰、肩など全身の衝撃を和らげてくれます。



しかし、同時に足のアーチは日常的にストレスがかかっている部位であるとも言えます。

アーチが崩れることで、地面からの衝撃吸収が不十分となり足、膝、股関節、腰など他の部位への負担が増えてしまいます。また歩く際の効率も悪くなります。



▲アーチがないと足裏への衝撃は大きくなる

＼アーチの崩れによって起こるトラブル／

扁平足 外反母趾 浮き指 …など

※この状態をそのままにしておくと膝痛、腰痛を引き起こす可能性もあります。

このようなことが起きないように、早いうちから「足のアーチ」を整えることはとても大事なことになります。

足のアーチを整える前に必要なこと

- 足は清潔な状態を保つ
- 洗った後は保湿ケアを特に「かかと」を重点的に保湿する
- 足に合った靴を選ぶこと

●セルフトレーニング●



① タオルを指でつまむ ② 踵上げ



これから寒くなってくる時期ですが、自宅のできる運動も数多くあります。

アーチ橋のような強くたくましく、そして美しい足を取り戻すために、ぜひ今日から始めてみませんか？

[出典:kenko100.jp]





大人気の落語♪

10月29日(日)

「健康フェスタ2017」を開催しました。

企画総務室／津原 宏行

健康フェスタは、「若い人たちに医療(各職種の業務内容等)とは何か、体験型のイベントを通して病院での仕事内容、地域での役割を知ってもらう。又、三角地域では高齢化率も高く、国の方針で在宅医療が推進されてきているため、大人、高齢者には在宅で活用できる介護体験、各種制度の案内などを行い、地域医療を通して健やかな生活を維持できるように支援していく」を目的に今回で8回目の開催となりました。

今年は「地域で生き・活き・健康づくり」をテーマに、6月から田辺大朗診療部長を実行委員長として職員一同一丸となって準備してきました。院内の外来ホールを利用したエリアでは、栄養・お薬相談、職業疑似体験 & 写真撮影や骨密度測定体験、ウィッグコーナーといった昨年までになかったブースを新たに設けました。また、2階の研修室では、手術・内視鏡体験等の疑似体験、BLS・AED体験、療法士体験など毎年好評の体験コーナーを設けました。今年の屋外特設ステージでは、地域の保育園の子どもたちによる素晴らしい体操や息の揃った力強い太鼓、小学生による地域の伝統であるソーラン節、フラダンス、近隣病院の医師による「お酒と健康」についての講演会、健康講演会、落語、お楽しみ抽選会など地域の皆様に喜んで頂けるイベントを予定していましたが、台風による強風の影響で中止となりました。しかし、毎年地域の皆さんがとても楽しみにされている落語とお楽しみ抽選

会だけでもなんとか開催しようとの強い声が職員から上がり、研修室で行っていたブースを急遽早めに切り上げて開催することになりました。その結果、来場者にも例年同様このイベントを楽しんで頂くことができました。午後からは天候も回復したため、地域の商工会、支部熊本県済生会、福祉センターなどの皆様ご協力によって美味しい焼そば、地産品などの屋台で盛り上げて頂きました。又、昨年4月に発生した、熊本地震の被害が大きかった震源地近辺店舗の方を招いて今年も復興村を設置しました。昨年のおやき、ならメンコ、馬すじカレーに加えて、今年はタピオカ・クレープといったスイーツを地域の皆さんへ提供することができました。

当初は、若人ランドでおなじみの緒方由美さんの司会進行で特設ステージを盛り上げて頂く予定でしたが悪天候で中止となったため、院内の各ブース・体験コーナーを回りながら地域住民との交流、記念撮影等に協力頂いた事で、いつもと違った形で地域の方に喜んで頂くことができました。

今年は残念な天候であったにも関わらず900人を越える来場者を迎え、「普段体験出来ない事が沢山あり勉強になりました」や「今年も来て良かった、医師の凄さがしみじみわかる体験でした、将来を背負う子供たちに大いに体験してほしいと感じました」といった言葉を頂くことができ、地元のイベントとして定着した事を職員一同嬉しく思います。

部署紹介★



企画総務室

意見をだしあいながら、病院を「デザイン」しています。

人事・経理・経営企画・総務など、医事に関するもの以外のいわば病院の組織デザインを担う部署です。それぞれ独自の専門部署を設ける余裕もないため少数精鋭でがんばっています。スタッフは健診の4名と清掃員7名もふくめ18名。人数が少ないぶん、意見の出しやすい和やかな職場環境です。最近、人事異動がありスタッフが入れ替わりました。表に出ることは少ないですが、なくてはならない存在です。

リハビリテーション室研修会 「脳画像の見方」

昨年度よりリハビリテーション室では、より質の高いリハビリテーションを提供するためリハリストアップ(以下リハスタッフ)全体の知識・技術の向上を目的に、定期研修会を開催しています。今年度は「脳画像の見方」というテーマで実施しました。

脳卒中リハビリテーション(以下脳リハ)におけるセラピストの評価は、症状が現れる身体部位の運動や感覚機能の障害、活動レベルの障害の評価が中心となります。そのため、脳リハで重要なことは脳画像を読み解くことで身体に出現する運動麻痺や感覚障害の程度、高次脳機能障害や失語などの症状を予測してリハビリテーションに臨むことではないかと考えています。リハスタッフ全員が同じ知識を共有し、損傷を受けた脳を評価することで、質が高く具体的なアプローチをリハスタッフ全員が患者さんに提供できます。

そこで、当院医師に脳解剖学の基礎知識、予後予測を中心に講義して頂き、臨床に自信を持って臨めるような研修会としました。

また、リハスタッフだけに限らず、医師、看護師、放射線技師、臨床検査技師、薬剤師、医療秘書と多職種が参加する研修会となっています。多職種での知識を共有していくことで、病院が一体となりより良い医療を提供していきます。

リハビリテーション室／民谷 雄太

みすみ病院の できごと

SAISEIKAI MISUMI HOSPITAL

済生会みすみ病院 秋の登山 韓国岳

9月30日土曜日、さわやかな早朝の風の中、最年少9歳～最年長86歳の計10名が韓国岳山頂を目指しました。大浪池登山口～大浪池を周り山頂へ到着、えびの高原ビジターセンターまで下山するコースです。

登り始めの天気はくもり。天気予報の晴れを信じて登ること1時間。大浪池に到着する頃にはすっきりと青空が見え、池は大きく青く輝いていて、向こう側に韓国岳が見えました。山頂は風が強く少し肌寒く感じましたが、空は高く透き通っていて、高千穂峰、薩摩半島、桜島、開聞岳まで見える景色はまさに絶景の一言です。このような風景が見えるから、山登りは楽しくて仕方ありません。

帰りはビジターセンターで温泉に入り疲れた体を癒やしてすっきりしました!

リハビリテーション室／中村 知香



第38回 全国済生会親善 ソフトボール大会

10月8日に山形県で行われました、第38回全国済生会親善ソフトボール大会に参加しました。全国大会は一昨年度に続いて2回目の出場でした。今大会は初戦突破を目標に、初戦の水戸病院戦へ挑みました。初戦は水戸病院の走攻守揃った抜け目のない攻めと、みすみ病院得意の「一番でのカタさ」が出てしまい0-8と大敗を喫しました。次戦の愛知リハ病院戦でも3-4と敗戦し、0勝2敗で大会を終えました。



去年の全国大会よりも明らかに全体的にレベルが上がっており、現在のみすみチームでは太刀打ちできるレベルではないと感じました。今後は練習内容や戦略等練り直し、来年度の九州大会に向けてチームを作り上げていきたいと思ひます。

リハビリテーション室／磯田 幸一郎

